

第183号

令和8年8月発行

編集・発行

社会福祉法人
松野町社会福祉協議会

〒798-2101

北宇和郡松野町大字松丸1661-13

TEL (0895) 42-0794

FAX (0895) 20-5311



まつの 社協だより



赤十字手つなぎボランティア



「気づき、考え、実行する」をモットーに、松野東小学校の青少年赤十字児童の皆さんと、松野町赤十字奉仕団の皆さんが協力して、学校を美しくしました。



熱中症に気をつけましょう



暑さが本格的になり、新聞やテレビなどで「熱中症」という言葉を見聞きすることが多くなりました。

また熱中症の話かと思った時こそ**要注意**です!!



令和6年の熱中症による死亡者数は2,160人で65歳以上の方は1,835人と、**約85%を占め、過去最多**となりました。

特に高齢の方は、暑さやのどの渇きを感じにくく、気づかないうちに熱中症になることがあります。重症化すると命にかかわることもあります。



「自分はまだ大丈夫」と思わず、命を守るために、

こまめな水分補給とエアコンの活用を心がけましょう。



※詳しくは、厚生労働省HPをご覧ください。

自分たちで
まちづくり

松野町地域福祉活動計画

第3期策定中



松野町社会福祉協議会では、「私たちの望む暮らし」を実現するため、住民の皆さんと一緒に「地域福祉活動計画」を策定しています。5年ごとに計画の見直しをしており、今年度は、第3期活動計画策定の年です。



延野々地区推進委員会

上家地地区推進委員会



10地区全てで推進委員会を開催し、「こんな地区にしたい」という思いを共有し、地区に必要な地域活動について意見交換していきます。

共同募金配分金事業

- 令和7年度の募金実績 一般募金 715,949 円
皆様からの温かい募金を財源に、下記のとおり活用させて頂きました。
- ・多世代交流イベント、福祉学習、地域食堂への助成 310,316 円
 - ・中学卒業記念品、小学校入学記念、福祉ボランティアグループ、サロン活動への助成。 326,924 円

まごころ銀行運営事業

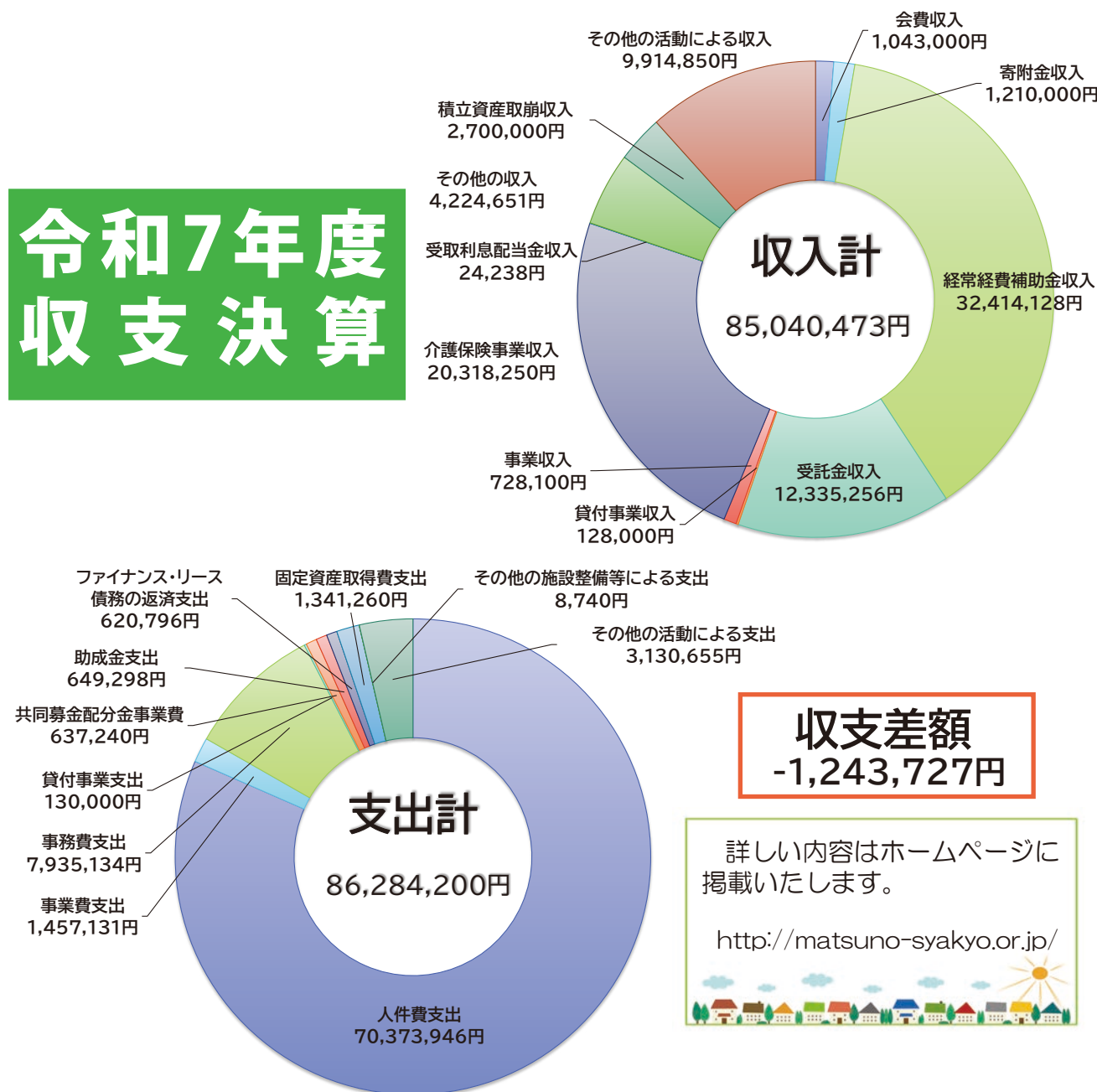
- 町民の方の善意の寄付金を受付管理し、その健全な管理運営を行うとともに、地域福祉活動や介護保険事業などへの活用を図った。

・令和7年度の寄付受付状況・活用内容

使途目的	件数	金額（円）	割合（金額比）
地域福祉事業へ	10	460,000	38%
介護保険事業へ	3	170,000	14%
法人へ一任	19	580,000	48%
その他	0	0	0%
合計	32	1,210,000	100%

活用内容	対象	金額（円）
まごころ銀行公募事業	吉野 押し活	75,000
地区福祉活動助成金	地区福祉活動助成金	300,000
結婚・出産祝い金	結婚・出産祝い金	110,000
	準備費用(クオカード在庫・購入手数料)	73,498
本会の事業で活用	共同募金配分金事業	430,000
	生活困窮者自立支援事業	20,000
	家計改善支援事業	120,000
	居宅介護支援事業	460,000
活用合計		1,588,498

令和7年度 収支決算



令和7年度 事業報告

令和7年度の事業報告ならびに収支決算について、主な内容を報告します。

法人運営事業

- 会議・各種大会の開催 理事会・評議員会 福祉のつどい 敬老式 戦没者追悼式
- 社協会員募集結果 総件数 1,013 件 会費金額 1,043,000 円
- 松野町老人クラブ連合会・身体障害者福祉協議会・遺族会の事務局として支援
- 日赤奉仕団の支援(会議・ボランティア等の支援) 母子寡婦福祉協議会(事業費支援)
- 日本赤十字社募金 活動資金協力実績 539,000 円

地域福祉推進事業

- 第2期地域福祉活動計画の推進
地域活動を進めてきた中で、「多世代での地域づくり」が町全体の課題として挙がっていることから、現在取り組んでいる地域活動を互いに知り、今後のつながり方や活動者の広げ方について協議をした。
- ボランティア活動の推進・支援
松野町福祉ボランティアグループと協働して、「多世代交流イベント」の開催、通学路の清掃、子育て世帯への支援、広報誌の音訳、読み聞かせ等のボランティア活動を支援した。
- 福祉教育の取り組み
ふだんのくらしをしあわせにするという視点で福祉を身近に感じ、みんなが必要なことや出来る事を考えるきっかけづくりとして、学校等と協働し取り組んだ。
- 生活支援体制整備事業
住民の健康づくり、地域の見守りネットワークづくりのため、理学療法士、地域おこし協力隊と連携し作った「未来貯筋体操」を、サロンや生きがい活動支援通所事業等の集まりで周知した。
- 生活困窮者自立支援・家計改善支援事業
県からの受託により「くらしの相談支援室」を開設。多様で複合的な課題の解決に向け、総合的な相談を受け付けるとともに、家計相談支援事業も実施した。 年間相談件数 385 件
- ふれあい・いきいきサロンの支援(町内 10 グループ)
地域で孤立する人をなくすため、高齢者や障害者、子育て中の親子などが、気軽に集い、地域の人々とのふれあいの場として、また情報交換の拠点として、楽しく参加しやすい活動を地域住民が運営できるよう支援し、心身の健康を保ち、生きがいづくりを推進した。
- 生きがい活動支援通所事業の実施
在宅で生活する 65 歳以上の高齢者を対象に、班ごとに月 1 回程度の寄り合いを持ち、要介護状態への予防を図れるよう、自立的生活と生きがいや社会参加を促進できるよう、健康講座や趣味の創作活動を支援した。
- 心配ごと相談事業 実施回数 年間 12 回(内、弁護士相談 3 回 / 年) 年間相談件数 11 件
- 福祉サービス利用援助事業・法人成年後見人
判断能力に不安、または不十分な方であっても福祉サービスの利用が適切に利用できるよう援助し、成年後見制度利用促進事業により、宇和島地域(1 市 3 町)による権利擁護センター・自治体・社協と連携し支援を行った。
- 生活福祉資金貸付事業(県社協受託) 年間相談件数 37 回件
- 小口資金貸付事業 貸付実績 8 件 306,000 円(令和 7 年度末貸付総額)
- 訪問型サービス事業
町内に在住する要支援者 1,2 の方を対象として、利用者が要介護状態となる事の予防、要介護状態の軽減または悪化を防止し、住み慣れた自宅で自立した日常生活を営むために、掃除や調理、ゴミ出しなどの軽微な家事援助など、松野町事業実施要綱に基づき、生活援助に限定したサービスを実施した。

在宅福祉サービスの推進事業 ～介護保険事業～

- 居宅介護支援事業
ケアプランの作成や相談支援活動を行い、24時間連絡相談体制を整備のもと、利用者が健全で安らかな在宅生活が送れるよう、また、家族の介護負担の軽減を図れるよう努めた。
また、対象世帯の抱える課題を解決するため、地域、施設等をつなぐパイプ役として、地域包括支援センター、医師、民生委員、本会の地域福祉部門等との連携により、地域福祉の向上に努めた。